

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 5 月 31 日 (2012.5.31)

【公表番号】特表 2011-520173 (P2011-520173A)
 【公表日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-028
 【出願番号】特願 2011-503210 (P2011-503210)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 6 5 0 R

G 0 6 F 3/048 6 5 1 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 4 月 3 日 (2012.4.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

仮想エリア (3 2) 内のコミュニケーション間のリアルタイム対話をサポートするネットワークコミュニケーション環境 (1 0) における個々のネットワークノードで動作するコミュニケーションの対話を場所属性値と関連付けるステップであって、前記対話ごとに、前記対話が行われた前記仮想エリアを識別する個々の場所属性値と、前記対話に参加した前記コミュニケーションの何人かを識別する 1 以上のコミュニケーション識別子属性値とを含む、個々の履歴の対話レコード (3 8) を生成することを含むものである、関連付けるステップと、

前記対話レコードに基づき、前記ネットワークコミュニケーション環境 (1 0) を管理するステップと

を含んでなり、

前記管理するステップは、

少なくとも 1 人のコミュニケーションをそれぞれ識別する少なくとも 1 つのコミュニケーション識別子属性値を含む問い合わせに基づいて、前記対話レコードを問い合わせることを含み、

前記問い合わせの結果から、前記少なくとも 1 人のコミュニケーションが対話している仮想エリアの少なくとも 1 つの集合と、個々の前記仮想エリアにおいて前記少なくとも 1 人のコミュニケーションと対話している前記コミュニケーションの集合とを決定するものである、方法。

【請求項 2】

前記関連付けるステップが、前記対話レコード (3 8) のそれぞれの中に前記個々の 1 以上の対話の開始時間および終了時間を包含することを含み、前記問い合わせは少なくとも 1 つの特別な開始時間および終了時間を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記関連付けるステップが、

1 以上の対話レコード (3 8) のそれぞれに、前記個々の対話中に前記ネットワークノードの個々のものから共有されたデータをそれぞれ識別する 1 以上のデータ識別子値を包含することを含み、前記問い合わせの結果は 1 以上のデータストリーム識別子を含み、

前記問い合わせの結果における 1 以上の前記データストリーム識別子に基づいてデータを検索することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの前記場所属性値は、個々の前記対話が行われた個々の前記仮想エリアのゾーンを識別し、前記問い合わせは、前記個々の仮想エリアの前記ゾーンを識別する前記場所属性値を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記問い合わせることが、前記コミュニケーションのうちの特定の 1 人の前記ネットワークノードから受信される入力データに基づいて実行されるものである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記管理するステップが、コミュニケーションの集合内のコミュニケーションのリストを、前記特定のコミュニケーションの前記ネットワークノードに送信することを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記問い合わせの結果に基づき、前記コミュニケーションにランクをつけるステップと、前記コミュニケーションをランクごとに前記リストの形で順序よく並べるステップとをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記管理するステップが、前記仮想エリアの集合中にあるいくつかの仮想エリアのリストを、前記特定のコミュニケーションの前記ネットワークノードに送信することを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記問い合わせの結果に基づいて、仮想エリアのリスト中の仮想エリアにランクをつけるステップと、前記仮想エリアの前記識別されたいくつかをランクごとに前記リストの形で順序よく並べるステップとをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記管理するステップが、前記対話レコード (38) から得られる少なくとも 1 つの統計値に基づき、前記仮想エリアの特定の 1 つに前記コミュニケーションの特定の 1 人の個々のプレゼンスを確立することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記対話レコードを問い合わせることに基づいて、前記特定の仮想エリア内の特定のコミュニケーションの対話の頻度を決定することをさらに含み、前記確立することが、前記特定のコミュニケーションの対話の頻度に基づき、前記特定の仮想エリアで決定される前記個々のプレゼンスを確立することを含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記確立することが、

前記特定の仮想エリア内の決定される前記対話の頻度が、指定された限界レベルを満たすという判断に基づいて、前記特定の仮想エリア内で前記特定のコミュニケーションの前記個々のプレゼンスを自動的に確立し、

前記決定される前記対話の頻度が前記指定された限界レベルを満たさないという判断に基づいて、前記特定の仮想エリア内に前記特定のコミュニケーションの前記個々のプレゼンスを確立する前に、権限が与えられたコミュニケーションによる確認を要求する、

ことを含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

仮想エリア (32) 内のコミュニケーション間のリアルタイム対話をサポートするネットワークコミュニケーション環境における個々のネットワークノードで動作するコミュニケーションの対話を場所属性値と関連付けるステップであって前記対話の個々のものごとに、前記対話が行われている前記仮想エリアと前記対話に参加している前記コミュニケーションを識別する 1 以上のコミュニケーション識別子値とを識別する個々の場所属性値を含む個々の履

歴の対話レコード(38)を生成することを含むものである、関連付けるステップと、前記対話レコード(38)から抽出した少なくとも1つの統計値に基づき、前記ネットワークコミュニケーション環境(10)を管理するステップとを含んでなる方法。

【請求項14】

個々の前記コミュニカントが個々のオブジェクトに関連付けられており、前記管理するステップが、前記コミュニカントの特定の1人の前記ネットワークノードに、前記仮想エリアの特定のもののグラフィック表現の仕様を送信することを含み、前記仮想エリアの特定のものは、前記特定のコミュニカントが存在し、前記オブジェクトの個々のグラフィカル表現が前記特定の仮想エリア内に存在する前記コミュニカントの他のいくつかのものと関連付けられている特定の前記仮想エリア内に、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

前記仮想エリアの特定のものを識別する前記場所属性値を含む前記対話レコードから、前記少なくとも1つの統計値を抽出することをさらに含み、請求項13に記載の方法。

【請求項16】

前記仮想エリアの特定のものを識別する前記場所属性値を含む前記対話レコードから、前記少なくとも1つの統計値と前記コミュニカントの特定の1人を識別する個々のコミュニカント属性値とを抽出するステップをさらに含む、請求項13に記載の方法。

【請求項17】

前記対話レコード(38)を問い合わせるステップと、前記問い合わせの結果から、前記仮想エリアの個々のものにおいて前記コミュニカントの特定の1人と対話している前記コミュニカントの集合を決定するステップと、前記少なくとも1つの統計値に基づき、前記集合内の前記コミュニカントのそれぞれに対する個々の適合スコアを決定するステップとをさらに含む、請求項13に記載の方法。

【請求項18】

前記対話レコードを問い合わせるステップと、前記問い合わせの結果から、前記コミュニカントの特定の1人と対話している前記仮想エリアの集合を決定するステップと、前記少なくとも1つの統計値に基づき、前記集合内の前記仮想エリアのそれぞれに対する個々の適合スコアを決定するステップとをさらに含む、請求項13に記載の方法。

【請求項19】

前記管理するステップが、属性値を識別する場所と、属性値を識別するコミュニカントと、時間属性値とのうちの2つ以上に基づき前記対話レコード(38)に問い合わせることを含む、請求項149に記載の方法。

【請求項20】

プロセッサに読み取り可能な命令を記憶しているメモリと、前記メモリに接続され、前記命令を動作可能に実行することができるプロセッサとを含んでなる装置であって、少なくとも一部の前記命令を動作可能に実行することは、仮想エリア(32)内のコミュニカント間のリアルタイム対話をサポートするネットワークコミュニケーション環境(10)における個々のネットワークノードで動作するコミュニカントの対話を場所属性値と関連付けることであって、前記対話ごとに、前記対話が行われた前記仮想エリアを識別する個々の場所属性値と、前記対話に参加した前記コミュニカントの何人かを識別する1以上のコミュニカント識別子属性値とを含む、個々の履歴の対話レコード(38)を生成することを含むものである、関連付けることと、前記対話レコードに基づき、前記ネットワークコミュニケーション環境(10)を管理することとを含み、前記管理することは、少なくとも1人のコミュニカントをそれぞれ識別する少なくとも1つのコミュニカント識別子属性値を含む問い合わせに基づいて、前記対話レコードを問い合わせることを含み

、
。
【請求項 21】

前記問い合わせの結果から、前記少なくとも 1 人のコミュニカントが対話している仮想エリアの少なくとも 1 つの集合と、個々の前記仮想エリアにおいて前記少なくとも 1 人のコミュニカントと対話している前記コミュニカントの集合とを決定するものである、装置

プロセッサに読み取り可能な命令を記憶しているメモリと、
前記メモリに接続され、前記命令を動作可能に実行することができるプロセッサと
を含んでなる装置であって、

少なくとも一部の前記命令を動作可能に実行することは、

仮想エリア(32)内のコミュニカント間のリアルタイム対話をサポートするネットワークコミュニケーション環境における個々のネットワークノードで動作するコミュニカントの対話を場所属性値と関連付けることであって、前記対話の個々のものごとに、前記対話が行われている前記仮想エリアと前記対話に参加している前記コミュニカントを識別する 1 以上のコミュニケーション識別子値とを識別する個々の場所属性値を含む個々の履歴の対話レコード(38)を生成することを含むものである、関連付けることと、

前記対話レコード(38)から抽出した少なくとも 1 つの統計値に基づき、前記ネットワークコミュニケーション環境(10)を管理することを含む、装置。